

みなさん、こんにちは。

もうすぐ待ちに待った夏休みがやってきますね。

県立文化施設では、楽しい展示会やイベントがたくさんありますので、お友達を誘って遊びに行きませんか？

県立美術館・博物館・考古博物館

文学館・山梨近代人物館

夏休みスタンプラリーが

始まります！



七月十四日(土曜日)から八月三十一日(金曜日)まで、県立美術館・博物館・考古博物館・文学館・山梨近代人物館・山梨ジュエリーミュージアムの六館で、幼児から高校生を対象に、夏休みスタンプラリーを開催します。

学校を通じて配られる「スタンプブック」を持ってスタンプを集めると、最後の館でプレゼントがもらえます。

また、達成者は豪華な景品が当たる抽選に応募することができます。

六館のスタンプを全て集めて、すてきなプレゼントをゲットしよう！

なお、スタンプラリーは県立図書館と科学館では行いませんので、ご注意ください。



夏休みスタンプラリースタンプブック

夏休み自由研究プロジェクト



多くの学校で夏休みの宿題になる自由研究。お子さんと一緒に悩まれるお父さん、お母さんも多いのでは？

でも、大丈夫！山梨県立博物館では、ミュージアム甲斐・ネットワークの活動の一環として、夏休みの自由研究や工作のお手伝いをしています。

「ミュージアム甲斐・ネットワーク」とは、山梨県内の約百館の博物館や美術館等と一緒に集まって、みんなが楽しめるイベントの開催などに取り組んでいる仲間たちです。そんなネットワーク事業の一環として行おうのが「夏休み自由研究プロジェクト」です。



「夏休み自由研究プロジェクト」(体験イベント)

ここでは、夏休みの子どもたちにイベントでの説明(各館毎にブースを設け、体験的なイベントやミニブックの配布)を通して自由研究のヒントを提供いたします。

夏休みの宿題で悩んでいるお友達、やりたい研究がきつとみつかると、日時 七月十六日(月曜日・海の日)

午後一時三十分から午後四時三十分

会場 アイメッセ山梨

甲府市大津町二一九二-八



県立美術館 特別展「魔法の美術館 光と遊ぶ真夏のワンダーランド」

もしも美術館に展示されている作品に魔法をかけたなら、どんなことが起こるでしょうか？

「魔法の美術館」展では、光ったり、動いたりする、まるで魔法にかけられたような不思議な作品たちがみなさんをお待ちしています。



的場やすし/山野真吾/徳井太郎 《SplashDisplay》

©yasushi MATOBA/shingo YAMANO/taro TOKUI

協力：電気通信大学小池研究室

ふだんの美術館の展覧会では作品にさわれないことが多いのですが、この展覧会はいつもと違います。展示されている作品のほとんどは、見る人が何かアクションを起こすことで動き出します。

例えば、通路を歩くと色とりどりの光があふれ出して虹色の散歩道ができたり、額ぶちの前に置かれた椅子に座ると自分の顔が絵になって額の中に登場したり、白紙の絵本を持って歩くときキャラクターや背景が現れてアニメのように動き出したり…。ゲーム感覚で様々な遊び方ができるので、自分なりに色々試してみましよう。

そしてもう一つ、この展覧会の一つも違う点は、なんと、全ての作品が写真撮影できることです。ぜひお気に入りの作品を見つけて、記念撮影もしてください。



小松宏誠 《Lifelog_シャンデリア》

《Lifelog_モビール》

©kosei KOMATSU

今年の夏休みは、光と影が織りなす魔法のアートを、美術館にぜひ見に来てくださいね！

開催期間は六月三十日(土曜日)から八月二十六日(日曜日)まで。

県立博物館 夏期企画展

「誕生五〇周年記念 リカちゃん展」



一九六七年に誕生し、二〇一七年に五〇周年を迎えた着せ替え人形「リカちゃん」。少女の夢や憧れを紡ぎ出したリカちゃんの世界観は移り変わる時代と連動し、ファッション史や住宅事情、ファミリー像や世相価値観を映し出してきました。

展覧会では「Licca meets Licca」をテーマに、誕生にまつわる開発ノートや、四代にわたりモデルチェンジを重ねてきたリカちゃんとその家族、友達約五八〇体をはじめ、歴代のリカちゃんハウスなど約七〇点のグッズ、有名ブランドや著名人五〇組による「五〇周年お祝いコラポリカちゃん」を展示します。祖母・母・娘三代にわ

たる少女たちの夢の世界と、日本の五〇年の変化を振り返りながら、あなたにとっての「わたしのリカちゃん」を探してみてください。

開催期間は七月十四日(土曜日)から九月三日(月曜日)まで。



県立考古博物館 夏季企画展「願いをかなえてほとけさま 甲斐の古代寺院」

山梨にお寺がいつからあるのか、みなさんは知っていますか？山梨県で一番古いお寺は、現在の笛吹市春日居町に建てられた寺本庵寺だとされています。



八世紀の中頃になると、時の権力者であった聖武天皇が、仏教を国の護りとして大事にしていくため、日本中に国分寺・国分尼寺というお寺を建てさせ、山梨にも現在の笛吹市一宮町に甲斐国分寺・国分尼寺というお寺が造られました。

この頃に造られたお寺の建物はもう残っていませんが、代わりに屋根に使われていた瓦や墨書土器といわれる

文字の書かれた土器などが跡地から見つかっています。

今では当たり前に使われている瓦も、当時はとても貴重なもので、お寺のような特別な建物にしか使えない贅沢品でした。瓦にどんな文様が描かれ、どのように造られたかを見ていくと、それらが使われた当時のお寺の様子も想像できるようになります。

今回の企画展では、こうした古代寺院の様子から、山梨に仏教が根付いていく過程をひもときます。

開催期間は七月二十八日(土曜日)から九月二日(日曜日)まで。



【複製】 瓦 甲斐国分寺跡出土

県立文学館

「童話の花束 子どもたちへの贈り物」

地獄の血の池でもがく健陀多を助けようと、お釈迦様が一筋の糸を垂らしますが……みなさんはこのお話の結末をご存じですか。「蜘蛛の糸」と題されたこの童話は、大正期を代表する小説家芥川龍之介が子どもたちに読んでもらいたいと思いついた傑作です。芥川は甲府や長坂町を訪れたことがあり、本県と関わりが深い作家です。

芥川のほかに、山梨ゆかりの文学者の中には、甲府市に生まれ、「赤毛のアン」の翻訳で知られる村岡花子、同じく甲府出身で母親の愛情をテーマにした「お母さん童話」の創始者徳永寿美子、韮崎市に住み、動物の生態を興味深く描いた太田黒克彦、アンデルセンの童話を翻訳した南アルプス市出身の矢崎源九郎など、多くの人が童話を創作しています。子どもたちのために苦心して作り上げた童話の数々を、原稿や手紙、本や雑誌で紹介しましょう。

開催期間は七月十四日(土曜日)から八月二十六日(日曜日)まで。八月五日(日曜日)にはアニメ映画「赤毛のアン」を上映します。



芥川の「蜘蛛の糸」が掲載された「赤い鳥」創刊号 1918年7月

県立科学館

開館二十周年夏期特別企画展

「科学ニンジャ学校」

「信玄先生の夏期講習の段」

開館二十周年を迎える県立科学館は、この夏、忍者学校になります！信玄先生が率いる「科学ニンジャ学校」では、風・林・火・山の四つの間と忍者秘伝の間で身体を鍛え、科学的な知識や知恵を身につけることができます。ニンジャ屋敷の宝物の正体を明かして、上級忍者をめざしましょう！

開催期間は、七月二十一日(土曜日)から八月二十六日(日曜日)までです。多目的ホールにて毎日開催しますので、多くの方のご来館をお待ちしています。

また関連イベントとして、七月二十八日(土曜日)には人気アニメ「忍たま乱太郎」の握手・撮影会(要整理券)、八月四日(土曜日)には忍者教室、八月十八日(土曜日)には忍者ショー(雨天時は忍者教室に変更)を行います。

そのほか忍者をテーマとした実験・工作・クラフト・サイエンスショー等のコラボ企画も毎日開催します。詳しくは県立科学館ホームページをご覧ください。直接お問い合わせください。



山梨近代人物館

「人物館の夏休み」

みなさん、今年の夏の予定は決まっていますか？山梨近代人物館では、夏休み期間中にみなさんが楽しめる企画をご用意してお待ちしています。

①山梨近代人物学講座

「人物から学ぶやまなしの歴史ツアー」
山梨にはどんな人がいて、どんなふうに山梨は作られていったのでしょうか。北杜市方面の資料館やゆかりの地に行き、詳しい説明を聞いてみましょう！自由研究にもぴったりです。

日時 七月二十二日(日曜日) 午前九時～午後五時
集合場所 山梨県庁 噴水広場
②山梨近代人物学講座

「山梨の先人しらべ」

山梨県にはどんな人が住んでいたのでしょうか。活躍していたのでしょうか。「人物をしらべること」で、その時代背景や山梨の歩み、郷土の特色を知り先人の想いに出会うことができます。この講座で興味のある人を見つけて、自由研究で調べてみましょう！

日時 八月五日(日曜日) 午後一時三十分～午後二時三十分
場所 山梨県庁舎別館三階「正庁」

③ぬり絵で「知る・分る・楽しむ」

七月十四日(土曜日)から八月三十一日(木曜日)までの夏休み期間中、人気のぬり絵コーナーを開催します。山梨にゆかりのある人物のぬり絵で楽しく学びましょう。



県立図書館

「贈りたい本大賞」

「大切な人に贈りたい一冊」

作品募集

皆さんが、大切な人に本を贈るなら、どの本を、どのような理由で選ぶのでしょうか。

県立図書館では、大切な人に贈りたい本と、一五〇字以内の推薦文(その本を選んだ理由、贈りたい理由)を募集します。応募の中から大賞作品を五選し、大賞受賞者に賞状と図書カード一万円分をお贈りします。

募集期間は、六月二十六日(火曜日)から九月七日(金曜日)です。県立図書館



贈りたい本大賞ポスター

先生方へ「博学連携のお知らせ」
美術館、博物館、考古博物館、埋蔵文化財センター、文学館、科学館

美術館、博物館、考古博物館(埋蔵文化財センター)、文学館、科学館では、教育プログラムの開設や出前授業、貸出教材など各館の特色を生かした教育普及事業を実施しています。詳細は各館担当者までお気軽にお問い合わせ下さい。

- お問い合わせ先
- 県立美術館 学芸課 電話 〇五五・二二八・三二五八
- 県立博物館 企画交流課 電話 〇五五・二六一・二六三一
- 県立考古博物館 学芸課 電話 〇五五・二六六・三八八一
- 埋蔵文化財センター 電話 〇五五・二六六・三〇一六
- 県立文学館 学芸課 電話 〇五五・二三五・八〇八〇
- 県立科学館 電話 〇五五・二五四・八一五一

美術館、博物館、考古博物館、文学館では、小・中・高・特別支援学校の児童・生徒は、常設展・特別(企画)展を無料で観覧できます。なお、近代人物館はどなたでも無料で観覧できます。